



<b>慶應義塾湘南藤沢高等部</b>			
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤5466 ☎0466-49-3585・3586			
活動団体	有志団体 環境プロジェクト		
主な活動時間	休み時間や放課後	活動人数	72人
最終審査会発表生徒	小菅 優介(3年) <small>ゆうすけ</small> 竹本 晴香(3年) <small>はるか</small>	担当教諭	成田 宏昭

## 羽ばたけ！ 未来の希望を広げるeco出前授業

### 【目標・今後の計画】

私たちは環境問題について興味を持ってもらうために小学生に出前授業を行っています。環境問題が深刻であることを知り、日常生活での一人一人の取り組みが影響すると気がついてもらうことも目的の一つです。また、小学生に出前授業をすることは、環境問題を意識する大人を将来的に増やすことにもつながります。さらに私たち高校生が先生となって授業を行うことは学ぶことが多く、計り知れない意義があります。

2015年度からは、慶應義塾横浜初等部のカリキュラムの一環として毎年出前授業ができるようになりました。出前授業を受けた初等部生が高校生になり、環境プロジェクトに入り、授業を受けた側から今度は教える立場となって小学生に授業を行う。そんなサイクルが生まれ、続いていくことを願っています。

さらに、特別学級に対する出前授業の依頼もいただき、もし実現すれば障害をもった小学生に対して初めて出前授業ができることとなります。これからも出前授業の対象者を広げ、新たなテーマのカリキュラムを作成することで自分たちの学びを深めるとともに、より多くの人たちに「環境問題は一人一人の意識が大切である」ということを伝えていきたいです。

### 【活動内容】

「出前授業」とは、環境プロジェクトのメンバーが主体となって、小学生に「環境」の授業をする取り組みです。授業はメンバーが一から作成します。授業の基となるテーマ選びや具体的な授業の構成、実験が必要な場合は実験道具の準備も行います。過去の授業のテーマは、「地球温暖化」「食糧問題」「ごみ・水質汚染」などさまざまです。

また授業作成の過程において、授業を受ける小学校側との連携も積極的に行ってきました。小学校のカリキュラムに沿ってテーマ選びを行ったり、出前授業後の小学校の授業で問題提起できるような構成を考えています。

例えば、2016年度に訪問した慶應義塾横浜初等部では学校のカリキュラムとして浄水場を見学する行事がありました。しかし、浄水場と密接な関係にある下水処理場を見学するカリキュラムは予定にありませんでした。生活廃水や工業用水の流れについて知識を深めたいという小学校側からの要望があったので、出前授業では「水質汚染」をテーマとしました。授業の前に私たち自身が知識を深めるため、まず水質汚染や下水処理場についての勉強をしました。授業を行うメンバーで下水処理場に見学に行き、その目的や仕組み、地域における役割を処理場の方から聞くなどしました。

他の小学校の出前授業でも、授業で紹介する場所(ごみ処理場、自然教育園など)へ実際に足を運んでいます。このように下準備としてテーマについて自分たちが深く学ぶことも、重要な過程となっています。授業の作成には約3カ月をかけ、小学校の先生と一緒に作り上げていきます。

授業は主に黒板やパワーポイントを使用します。小学生が相手なので、分かりやすく、インパクトのあるものにすることを心がけています。文字ばかりでは飽きてしまうので、イラスト、写真を多く用いて視覚的要素を多く含ませています。メンバーで授業のパート分けを事前に決め、十分に練習を重ね、本番に臨みます。児童の混乱を防ぐため各パートでは基本的にプレゼンターは一人で授業を進行し、他のメンバーは各自近くの児童のサポートをします。授業の進行速度は児童の反応を十分にみながら、理解できてい

る様子なら進め、あまり理解できていないようなら、サポートに入ったメンバーが個別で適宜対応しています。授業では常に臨機応変な対応が求められ、課題を見つけ、より良い授業にするために改善させていく力も必要です。

### 【成果・実績】

2003年から現在まで、3000人以上の生徒に授業をしてきました。2016年度は神奈川県藤沢市立湘南台小学校、東京都港区立高輪台小学校、慶應義塾系列小学校の慶應義塾横浜初等部の3校で行いました。本年度は精華小学校、慶應義塾幼稚舎、また慶應義塾横浜初等部で再度行う予定です。対象学年は小学2～6年生と、学校の要望に合わせて幅広く行っています。小学生で出前授業を受けた児童が本校中等部に入学し、環境プロジェクト代表になるなど、確実に私たちの活動の成果が現れてきています。

2017年に行った慶應義塾横浜初等部への出前授業では、株式会社スクールパートナーズによる取材を受け、出前授業の様子が高校生新聞に掲載されました。

本出前授業の発表実績としては、2017年2月5日に行われた独立行政法人環境再生保全機構・環境省主催の第2回全国ユース高校生環境活動発表大会にて全国第2位となる独立行政法人環境再生保全機構理事長賞を受賞することができました。



#### ●活動にあたり創意工夫したこと

学年、学校によってオリジナルの授業を作り上げています。児童たちを飽きさせず、またその場で疑問を解決すること、そして何より一から私たち自身の手で授業をつくるということにこだわりをもっています。出前授業を通して小学生が自分たちにできることを考え、そして実践してもらえるように、常に試行錯誤を繰り返しています。

#### ●活動の際に苦労したこと

一度の出前授業で20人ほどメンバーが必要なため、準備やリハーサルの日程を調整するのが大変です。また、小学校の先生方と打ち合わせを行いますが、失礼のないよう注意を払い、簡潔に自分たちの熱意を伝えるのが大変で、毎回緊張します。本番では小学生から予想のできない質問が飛び出すことがあります。その場合は授業後に調べてあとで小学生に伝えたりしています。授業での質問をまとめ、来年度以降の出前授業に役立てる予定です。

### 活動の環<sup>わ</sup>を広げよう 出場者からの提言

◎環境活動に対するアプローチ方法はたくさんあるということを実感しました。また、質疑応答においてさまざまな視点からコメントが飛び交っていたのがとてもよかったです。これから社会へと出ていく中で個人としてできることを常に考え続け、行動に移したいと思いました。  
(小菅優介・3年)

◎想像していた以上に、私は各学校のプレゼンテーションに引き込まれました。練習の成果がうかがえる洗練されたプレゼンテーションの中で、生徒全員が自分の活動に誇りをもった瞳をしていたのが印象的でした。このような場で発表させていただいたことを光栄に思います。  
(竹本晴香・3年)